

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2021年度（2022年3月期） 第1四半期

1. 決算概要
 - 1-1. 2021年度 第1四半期決算
 - 1-2. セグメント別実績
 - 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
 - 1-4. セグメント情報詳細
2. 2021年度業績見通し
 - 2-1. 2021年度業績予想
 - 2-2. 2021年度セグメント別見通し
 - 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）

1. 決算概要

1-1. 2021年度 第1四半期決算

単位：百万円

	2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	95,175	81,059	+14,116	+17.4%
海外売上高比率	19.6%	17.9%	+1.7P	—
営業利益	3,311	4,685	△1,373	△29.3%
売上高営業利益率	3.5%	5.8%	△2.3P	—
経常利益	3,948	4,809	△861	△17.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,815	3,378	△562	△16.7%

1-2. セグメント別実績

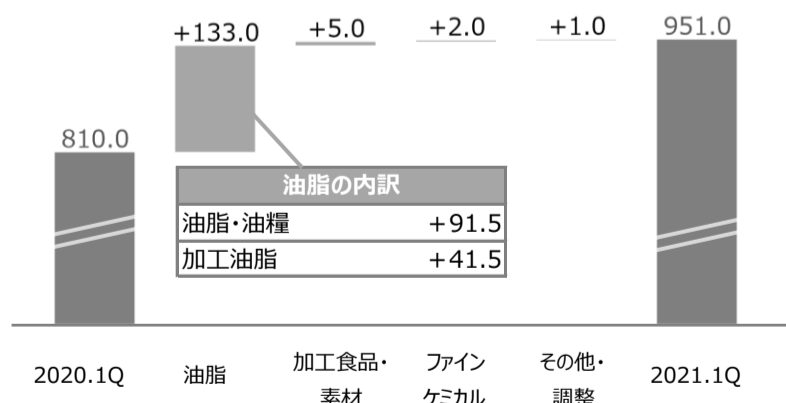
単位：百万円

	2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	95,175	81,059	+14,116	+17.4%
油脂	77,383	64,055	+13,327	+20.8%
油脂・油糧	59,779	50,630	+9,148	+18.1%
加工油脂	17,604	13,425	+4,178	+31.1%
加工食品・素材	13,096	12,587	+509	+4.0%
ファインケミカル	4,052	3,854	+198	+5.1%
その他・調整	642	561	+81	+14.5%
営業利益	3,311	4,685	△1,373	△29.3%
油脂	2,598	4,227	△1,628	△38.5%
油脂・油糧	1,309	1,951	△642	△32.9%
加工油脂	1,289	2,275	△986	△43.3%
加工食品・素材	440	302	+138	+45.8%
ファインケミカル	412	408	+4	+1.0%
その他・調整	△140	△253	+112	—

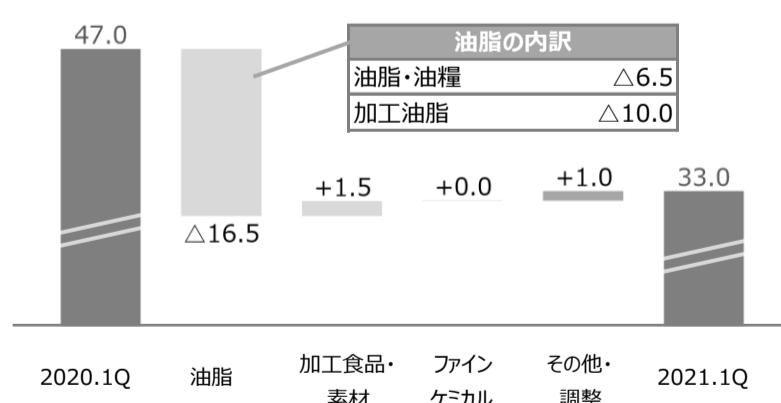
1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - ・原料コスト上昇に伴う販売価格の改定（↑）
 - ・外食需要の持ち直しに伴う業務用商品の販売数量増（↑）
 - ・前年同期における内食需要急増の反動によるホームユース商品の販売数量減（↓）
 - ・ホームユース商品における付加価値品の販売数量増（↑）
- 加工食品・素材
 - ・調味料、MCT製品の販売数量増（↑）
- ファインケミカル
 - ・中国国内における需要の持ち直しによる化粧品原料の販売数量増（↑）

<営業利益増減要因>

- 油脂
 - ・国内油脂における原料コストの上昇（↓）
 - ・海外加工油脂における原料コストの上昇（↓）
 - ・パーム油取引の時価評価益の減少（↓）
- 加工食品・素材
 - ・国内外における需要持ち直しによるチョコレート製品の販売数量増（↑）
- ファインケミカル
 - ・中国国内における需要の持ち直しによる化粧品原料の販売数量増（↑）
 - ・環境・衛生商品の販売数量減（↓）

1-4. セグメント情報詳細

単位：億円
増減額は前年同期比

油脂（うち油脂・油糧）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	構成比	増減額		
国内油脂	49%	+46.5	△7.0	・油脂販売価格の改定、コロナ禍からの需要持ち直しによる業務用・加工用商品の販売増、ならびにミール販売価格上昇により増収。 ・原料代高騰等による油脂コストの大幅上昇の影響が大きく、減益。
業務用・加工用	59%	+47.0		
ホームユース	41%	△0.5		
ミール	27%	+51.0		
子会社	24%	+22.5	+0.5	
連結調整 他	—	△28.5	+0.0	
油脂・油糧 計	100%	+91.5	△6.5	油脂セグメントに占める売上高構成比は約77%

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
24%	+4.5

※構成比は、連結調整を除いた売上高に占める割合
※業務用・加工用およびホームユースの構成比は、国内油脂の売上高に占める割合
※連結調整 他は、連結消去および収益認識基準変更の影響を含む

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

	増減額	主な要因
販売数量要因	+6.5	業務用・加工用（+6.0）、ホームユース（+0.5）
販売単価要因	+21.5	業務用・加工用（+19.5）、ホームユース（+2.0）
コスト要因	△32.0	
大豆	△16.0	C&F（△56.0）、為替（+3.5）、ミール販売（+36.5）
菜種	△34.5	C&F（△51.5）、為替（+2.0）、ミール販売（+15.0）
その他商品・製造費	+18.5	
販管費・その他	△3.0	物流費、販促費等の増加
合計	△7.0	

油脂（うち加工油脂）

	売上高構成比	数量増減率	営業利益増減額	コメント
海外加工油脂	89%	+14%	△8.0	販売数量増および販売価格の上昇により増収も、原料代高騰によるコストの大幅上昇とパーム油先物時価評価の影響により減益
欧州	38%	+38%		
アジア	53%	+3%		
その他地域	9%	△2%		
国内加工油脂	11%	+5%	△1.0	需要回復に伴う販売数量増も、売上原価上昇により増収減益
連結調整 他	—	—	△1.0	
加工油脂 計	100%	—	△10.0	油脂セグメントに占める売上高構成比は約23%

補足：海外加工油脂に占める
チョコレート用油脂を中心とした
スペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
30%	△4%

※構成比は、連結調整を除いた売上高に占める割合

加工食品・素材

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	構成比	増減額		
チョコレート	44%	+3.0	+1.0	菓子需要持ち直しによる販売数量増により増収増益
調味料	9%	+0.5	△0.5	販売数量増も、販管費増加により増収減益
機能素材・食品	13%	+0.5	+0.0	MCTの販売数量増加により増収増益
MCT	73%	+0.5		
大豆素材・食品	34%	+5.0	+1.0	醸造用ミール、食品大豆の販売数量増と単価上昇により増収増益
連結調整 他	—	△4.0	+0.0	
加工食品・素材 計	100%	+5.0	+1.5	

※構成比は、連結調整を除いた売上高に占める割合
※MCTの構成比は機能素材・食品の売上高に占める割合
※連結調整 他は、連結消去および収益認識基準変更の影響を含む

ファインケミカル

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	構成比	増減額		
ファインケミカル製品	65%	+5.5	+0.5	中国国内における化粧品原料の販売数量増により増収増益
化粧品	70%	+4.0		
環境・衛生	35%	△1.5	△0.5	業務用商品の販売数量減により、減収減益
連結調整 他	—	△2.0	+0.0	
ファインケミカル 計	100%	+2.0	+0.0	

※構成比は、連結調整を除いた売上高に占める割合
※化粧品原料の構成比はファインケミカル製品の売上高に占める割合
※連結調整 他は、連結消去および収益認識基準変更の影響を含む

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY
2020年度第1四半期	108.86	120.08	26.09	15.59
2021年度第1四半期	109.52	131.94	26.10	16.96

2. 2021年度業績見通し

2-1. 2021年度業績予想

単位：百万円

	2021年度 見直し①	2020年度 実績②	前期比		2021年度 当初計画③	当初計画比	
			増減額 (①-②)	増減率		増減額 (①-③)	増減率
売上高	400,000	336,306	+63,693	+18.9%	360,000	+40,000	+11.1%
営業利益	11,500	12,324	△824	△6.7%	11,500	-	-
経常利益	12,000	13,836	△1,836	△13.3%	12,000	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,700	9,244	△1,544	△16.7%	7,700	-	-

2-2. 2021年度セグメント別見通し

単位：百万円

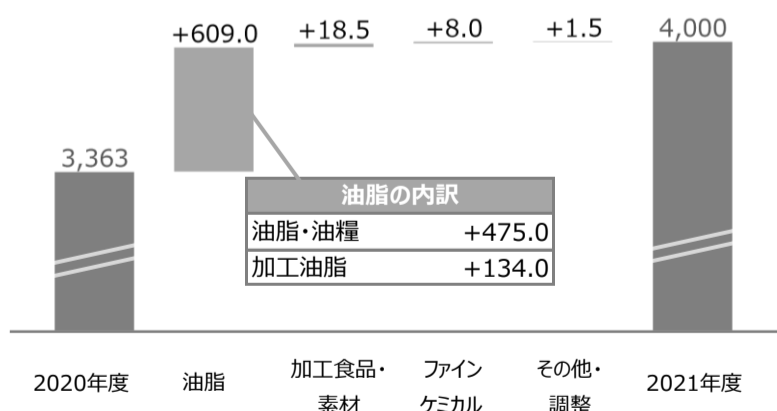
	2021年度 見直し①	2020年度 実績②	前期比		2021年度 当初計画③	当初計画比	
			増減額 (①-②)	増減率		増減額 (①-③)	増減率
売上高	400,000	336,306	+63,693	+18.9%	360,000	+40,000	+11.1%
油脂	327,000	266,132	+60,867	+22.9%	292,000	+35,000	+12.0%
油脂・油糧	260,000	212,514	+47,485	+22.3%	222,500	+37,500	+16.9%
加工油脂	67,000	53,617	+13,382	+25.0%	69,500	△2,500	△3.6%
加工食品・素材	55,000	53,146	+1,853	+3.5%	50,000	+5,000	+10.0%
ファインケミカル	15,000	14,194	+805	+5.7%	15,000	-	-
その他・調整	3,000	2,834	+165	+5.9%	3,000	-	-
営業利益	11,500	12,324	△824	△6.7%	11,500	-	-
油脂	9,300	10,419	△1,119	△10.7%	9,900	△600	△6.1%
油脂・油糧	5,950	9,548	△3,598	+37.7%	6,100	△150	△2.5%
加工油脂	3,350	870	+2,479	+284.9%	3,800	△450	△11.8%
加工食品・素材	1,700	1,810	△110	△6.1%	1,300	+400	+30.8%
ファインケミカル	900	792	+107	+13.6%	700	+200	+28.6%
その他・調整	△400	△697	+297	-	△400	-	-

※新セグメントによる2020年度実績数値は概算値であり、会計監査人による監査を受けたものではありません

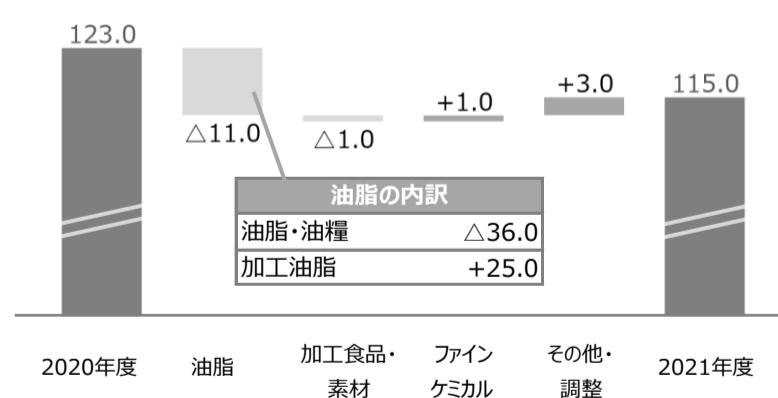
2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し (対前期比)

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - ・原料コスト上昇に伴う販売価格の改定 (↑)
 - ・外食需要の持ち直しに伴う業務用商品の販売数量増 (↑)
 - ・ホームユース商品の販売数量減 (↓)
- 加工食品・素材
 - ・国内外におけるチョコレート製品の販売数量増 (↑)
 - ・調味料、MCT製品の販売数量増 (↑)
- ファインケミカル
 - ・需要持ち直しによる化粧品原料の販売数量増 (↑)

<営業利益増減要因>

- 油脂
 - ・油脂、加工油脂における原料コストの上昇 (↓)
 - ・パーム油取引の時価評価益 (↑)
- 加工食品・素材
 - ・国内外におけるチョコレート製品の販売数量増 (↑)
 - ・新工場稼働に伴うMCT製品における減価償却費負担増と原価上昇 (↓)
- ファインケミカル
 - ・化粧品原料の販売数量増 (↑)
 - ・新工場稼働に伴う減価償却費負担増 (↓)

■ シカゴ大豆
(¢/bu)



出典：Bloomberg

■ ICE菜種相場
(CAD/t)



出典：Bloomberg

■ パーム原油相場
(MYR/t)



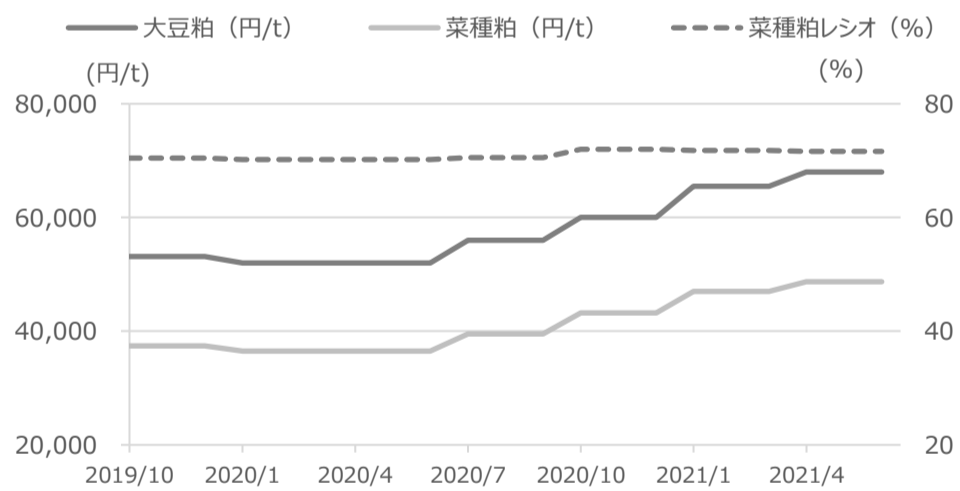
出典：Bloomberg

■ 為替相場 (円/ドル)



出典：Bloomberg

■ ミール業界平均価格



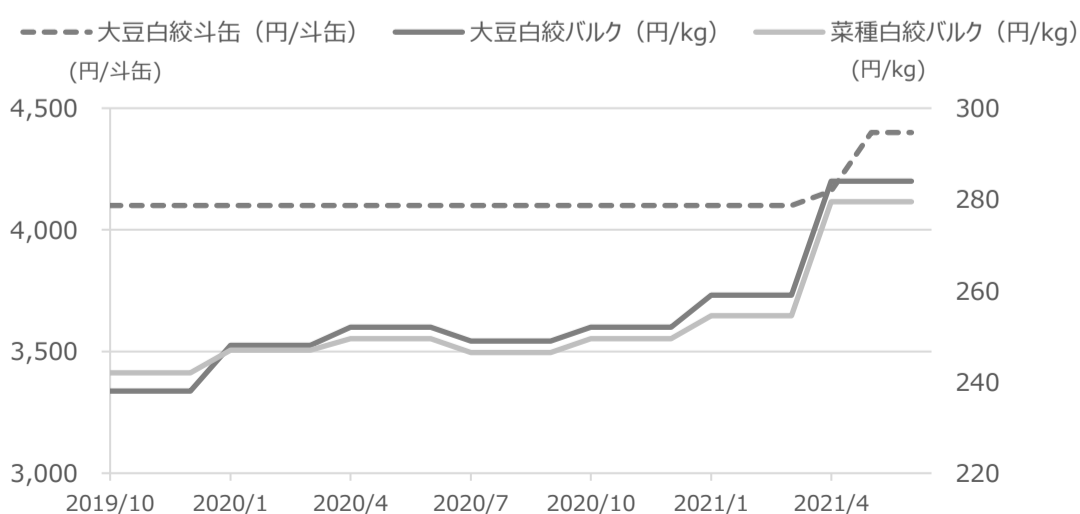
出典：油脂特報

■ ミールバリュー推移



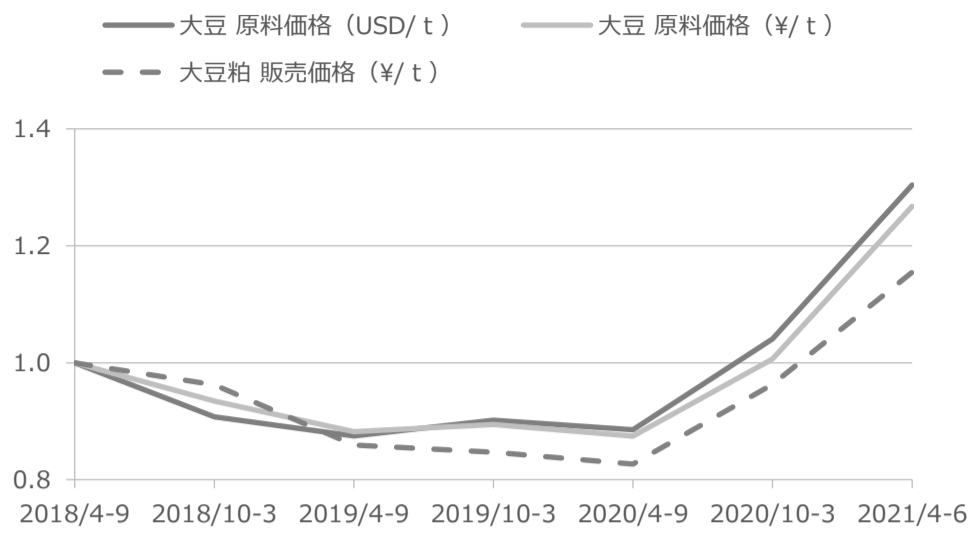
出典：Bloomberg

■ 日経市中相場 (業務用斗缶)

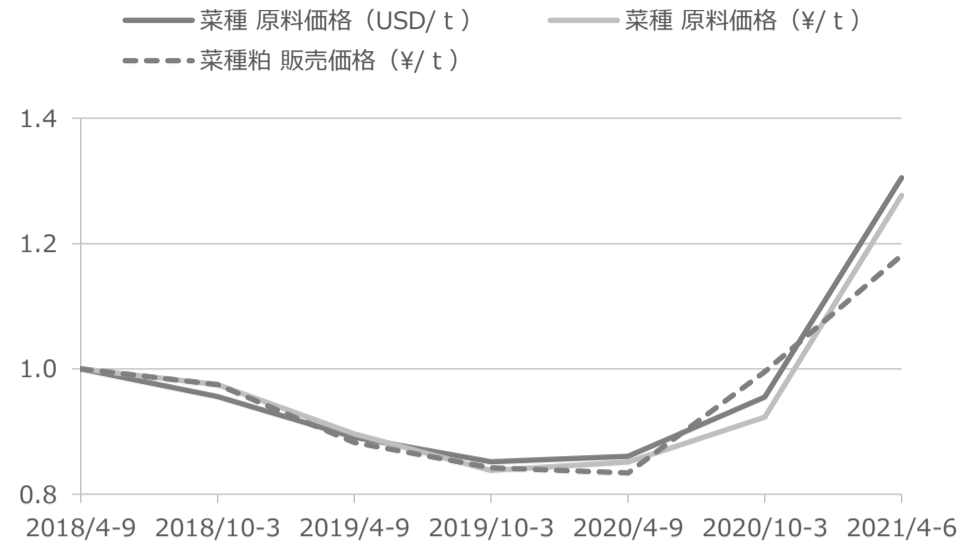


出典：日経新聞

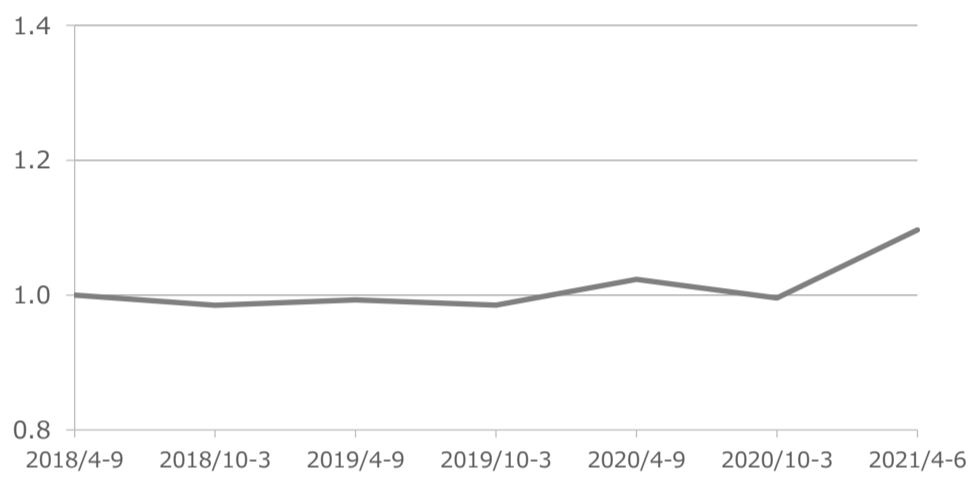
■ 原料・油粕（大豆）



■ 原料・油粕（菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）



※2018年4-9期を1とした指数
出典：日清オイリオグループ(株)の数値